

【小学校・中学校・義務教育学校用】
令和7年度学校評価 計画

学校名	鳥栖市立鳥栖北小学校
1 前年度 評価結果の概要	・中間評価をもとに、取組をさらに推進させることで、目標に近づくことができた。来年度も振り返りを行いながら取り組んでいきたい。 ・教科「日本語」やコミュニケーション・スクールの取組についての周知が不十分であったことが分かった。学校だよりや授業参観、学校ホームページを使って取組を広く知らせていきたい。 ・コミュニケーション・スクールとしての取組が軌道に乗ってきている。学校運営協議会とともに様々な行事を企画し、実施していきたい。

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

2 学校教育目標	豊かな心を持ち、個性に富み、たくましく生きる児童の育成
3 本年度の重点目標	①子どもの心を鍛える ②子どもの学びを鍛える ③子どもの体を鍛える ④教師力を磨く ⑤共に育てる

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●「自分の思いをもち、自分なりの方法で伝えることができる児童の育成」を目標とした授業実践と探究授業の実施	「自分の思いをもち、自分なりの方法で伝えることができる」とは本校が大切にしていることである。児童が自分の考えを伝えることができる割合が90%以上。 ・国語科・算数科それぞれ単元の学習目標の達成率・評価率の向上が目標である。年間平均達成率が90%以上。	・教職員間で成果指標を共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。						
	○読書活動の推進	・読書量平均一人70冊以上（低学年） 60冊以上（中学年） 50冊以上（高学年）	・図書委員会による図書情報作りや各学年のおすそ分けの本の提供など読書への啓発活動を行う。 ・読書カードの活用を奨励する。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・学級づくりや道徳科の授業づくりに関する情報共有等を行う。 ・友達との意見の交換を行う。	*		*		*	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	・いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業計画等）について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの定義について研修を行う。 ・毎月1回担任と保護者（いじめ）の話し合いを行い、必要に応じて、担任と保護者の間で話し合いを行う。 ・毎週水曜日の「生徒指導の日」で情報共有し、指導や対応の方法について共通理解を図る。	*		*		*	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と思う児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について、前年度より増加した児童生徒80%以上	・児童が夢や目標をもつことができるよう授業実践を行うとともに、家庭についての情報も共有する。 ・キャリアパスについて説明し、活動の意義と目標を共有し、児童の夢や目標を支援すること、児童が自分の夢や目標に向かって努力できるようにする。	*		*		*	
	○「笑顔であいさつ」「笑顔でありがとう」が言える児童の育成	・アンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・児童委員会の児童を中心に、朝のあいさつ運動を行う。 ・学級づくりや学級運営であいさつの大切さ、あいさつ運動の取り組みについて紹介する。	*		*		*	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 ●「安全に関する資質・能力」に関する児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする	・各学級において、「早寝・早起き・歯は磨く」の大切さについて伝え、学ぶ場をつくる。また、継続できているかの振り返りも定期的に行う。 ・生活リズムアップ運動を実施し、学校・家庭の両面から、朝・昼・夜をすべて意識する運動を奨励させる。 ・防災ブザー点検を各学級で行い、所持する必要性について説明を行う。	*		*		*	
	○運動習慣の改善や定着化を目指した教育活動	運動やスポーツが好きだと感じている児童生徒90%以上	・週に1回以上各学級でレクリエーションの日を設定し、運動する機会を増やすようにする。 ・全校児童を対象としたスポーツ大会を実施し、運動を楽しく感じようとする取り組みをする。	*		*		*	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減（4時間/月）の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、年次休暇の取得日数が14日以上となる教員が90%以上	・業務記録により勤務時間の意識化を図る。 ・定時運動日を設定し、確実に実行する。 ・業務の効率化を行う。 ・業務を計画的に進めるよう毎日定時時刻までに完了する。 ・各種業務の文書のデータベースづくり、活用できるように整備する。 ・ICT機器（PC、タブレット）を授業や業務に効率的に活用する。	*		*		*	
	○ICT機器の活用	ICT機器を授業や業務に活用できている教員の割合80%以上		*		*		*	
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○通級学級と特別支援学級で連携した交流および共同学習の実施率100%。 ○特別支援に関する専門性と意識が向上した教員80%以上。	・「児童が主体的に活動する場面を設定し、授業づくりを行う。」 ・「自分のまなを大切に、進めよう」という意識を児童に伝える。	*		*		*	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	○保護者・地域等に対する教科「日本語」の普及公開講座80%以上。 ○保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上。	・教科「日本語」の実践内容について、学年・通級で学期に1回紹介する。 ・児童の取り組みや感想等を、学級運営等で学期に1回以上伝える。	*		*		*	
○学習への意欲の充実	○「子どもファースト」を意識した授業づくりと学級経営	○「意識的に子どもが主体となる授業を行った」と回答した教師の割合90%以上。 ○「自分の教室は安心できる」と回答した児童の割合90%以上。	・子どもが主体的に活動する場面を設定した授業づくりを行う。 ・ありのままを受け入れ、進めようという意識を児童に伝える。	*		*		*	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ○・・・意と誇りを高める教育